

一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー

箕浦 龍一

一般社団法人 官民共創未来コンソーシアム
理事



<略歴>

平成3年4月 国家公務員任官（総理府・総務庁採用）

沖縄開発庁、総理府広報室、福井県警察本部、総務庁人事局、総務省人事・恩給局、内閣官房行政改革推進本部事務局、総務大臣秘書官等を経て、2015年7月、総務省行政管理局企画調整課長、2018年7月行政評価局総務課長。2021年7月、総務省大臣官房サイバーセキュリティ情報化審議官（内閣官房政府副CIO兼務）を最後に退職。

総務省時代には、オフィス改革を中心とする働き方改革に取り組み、その実績により人事院総裁賞を受賞（両陛下に拝謁）。2017年の日本行政学会では、「機動力の高いナポレオン型管理職」として紹介される。2018年には、中央省庁初となる中央省庁と基礎自治体との短期交換留学も実現するなど公務部門の若手人材育成にも取り組んで話題となった。

2020年11月、一般財団法人行政管理研究センターの協力を得て、「公務部門ワークスタイル研究会」を立ち上げ、その研究主幹に就任。

「軽井沢リゾート・テレワーク協会」や「金沢イノベーション・ハブ研究会」、食を通じて健康と医療を考える「フードメディシンネットワーク」など、様々なプロジェクト・コミュニティにも参画している。

<得意とする分野>

- 働き方改革（全般）
- ワークプレイス（オフィス）改革
- テレワーク
- ワーケーション
- 地方創生
- 関係人口創出
- 人材開発・人材育成

<自治体等との連携実績等>

○総務省時代の短期インターン受入に伴う継続的人材開発

奈良県川上村

高知県仁淀川町

福島県西会津町

長野県佐久穂町

○ワーケーション自治体協議会結成に尽力（2019年7月、11月）

○三重県庁「みえモデルワーケーション研究会幹事会」メンバー（2021年8月～）

○自治体主催研修・講演会等の講師実績

島根県庁（平成29年1月）、奈良県川上村（同年3月）、千葉県松戸市（同年7月）、渋谷区議会（平成30年2月）、奈良県川上村（同年5月）、兵庫県神戸市（同年8月）、京都府庁（平成31年1月）、和歌山県庁（同年1月）、宮城県登米市（令和元年5月）、岩手県釜石市（同年10月）、山形県庁（同年10月）、秋田県湯沢市（同年11月）、長野県庁（同年11月）、金沢市議会（同年11月）、福岡県久留米市（令和2年10月）、岩手県庁（同年12月）、北海道富良野市（令和3年2月）、新潟県糸魚川市（同年3月）、岩手県議会（同年4月）、神奈川県相模原市（同年7月）、愛媛県西予市（同年7月）、福井県高浜町（同年7月）

<その他特記事項>

○地域活性化センター講演実績

令和元年10月18日 「ワークプレイスの四次元化～知的創造(Create)のためのワークスタイル」

令和2年11月15日 「「働き方」の変容とリモートワークの可能性～地方と都市をつなぐワークスタイル改革～」(地方創生カレッジ)

令和2年11月20日 「「リモート」が変える～地域活性化の新しい形～」

令和3年7月9日 「ワーケーションから始まる地域づくり～地域でつくる新しい働き方、暮らし方、関係性」

関連 URL : <https://profiee.com/i/rmino>